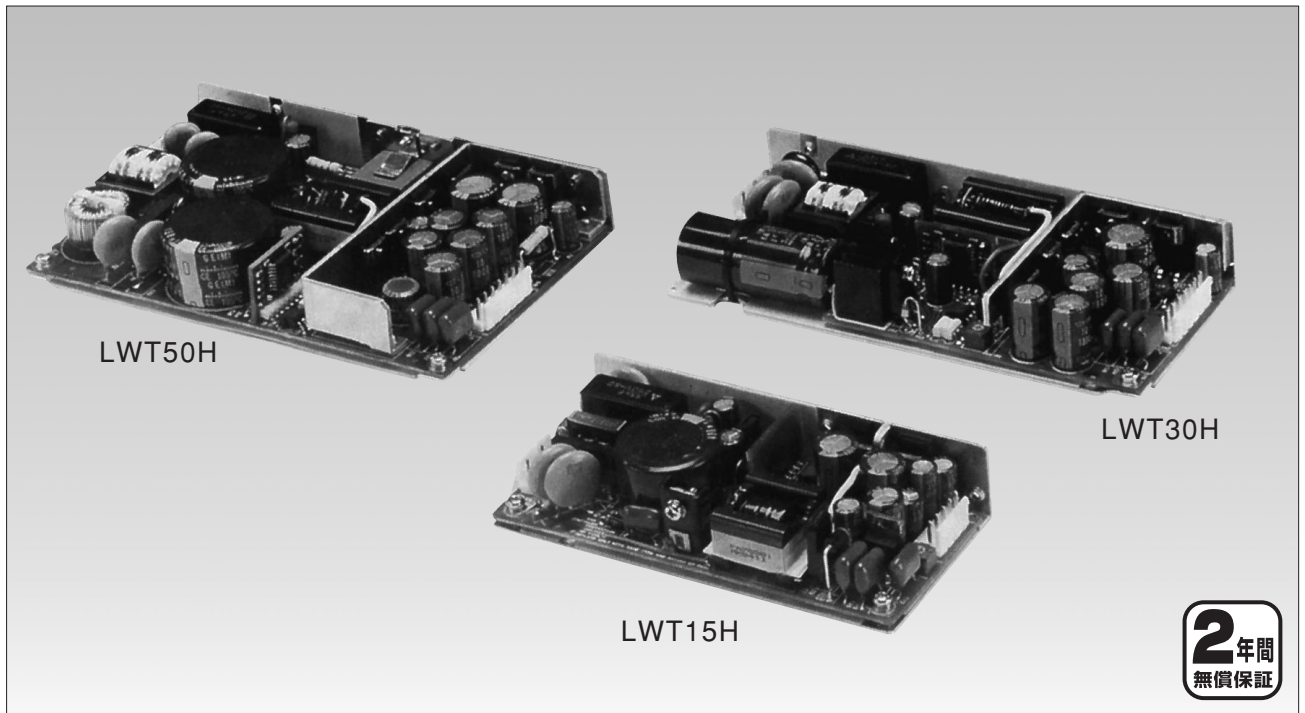


# LWT-H-SERIES

三出力17W~50W



## ■特長

- 100V/200V系ワイド入力 マルチ出力 ローコストタイプ
- 計測装置や小型形状が必要な用途に対応
- 薄型形状：約1インチ(26mm)
- ワットボックス電源(フレキシブルパワー)設計  
総合最大出力電力以内で各チャンネルの出力電力を自由に設定できます。
- CH1出力はCH2、3とアイソレーション

## ■安全規格

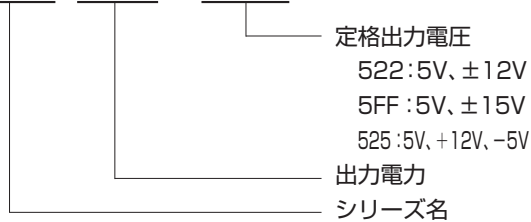
UL	認定	UL60950-1
CSA	認定	CSA C22.2 No.60950-1 (C-UL)
TÜV	認定	EN60950-1 (TÜV)
CE	適合	低電圧指令

## ■EMC

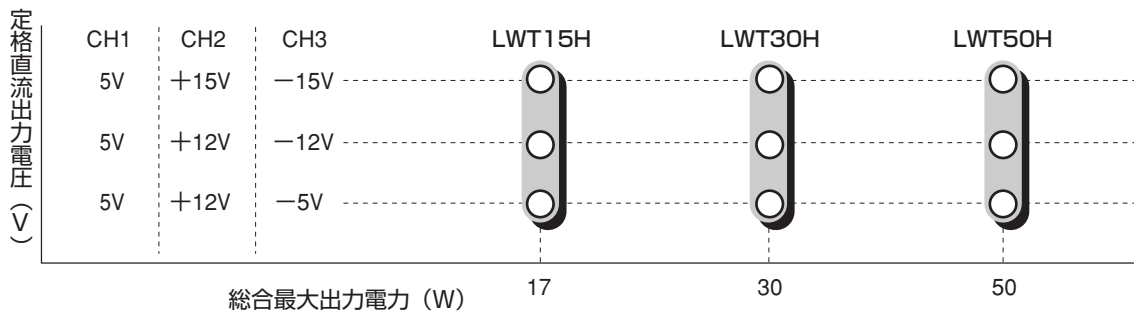
雑音端子電圧	準拠	VDE-B
	準拠	FCC-B

## ■型名称呼方法

### LWT 15H-522



## ■製品ラインアップ



## ■LWT15H 仕様規格

(ご使用前に取扱説明書をお読み下さい)

仕様項目	型名	LWT15H-5FF			LWT15H-522			LWT15H-525		
	CH	CH1	CH2	CH3	CH1	CH2	CH3	CH1	CH2	CH3
1. 定格直流出力電圧		5V±1%	+15V	-15V	5V±1%	+12V	-12V	5V±1%	+12V	-5V
2. 最小直流出力電流 (注10)		0.5A	0A	0A	0.5A	0A	0A	0.5A	0A	0A
3. 最大直流出力電流		3.0A	0.6A	0.4A	3.0A	0.6A	0.4A	3.0A	0.6A	0.4A
4. 最大出力電力		15.0W	9.0W	6.0W	15.0W	7.2W	4.8W	15.0W	7.2W	2.0W
5. 総合最大出力電力		17.0W			17.0W			17.0W		
6. 効率 (Typ.) (注1)		72%			72%			72%		
7. 入力電圧及び周波数 (注2)		85~265VAC (47~440Hz)、110~330VDC連続入力								
8. 入力電流 (Typ.)		0.40A 100VAC/0.22A 200VAC								
9. 入力サージ電流 (Typ.) (注3)		100VACに於いて14A/200VACに於いて28A								
10. 最大リップル電圧 (含ノイズ) (注4)		100mV	150mV	150mV	100mV	150mV	150mV	100mV	150mV	150mV
11. 最大入力変動 (注4、5)		50mV	150mV	150mV	50mV	120mV	120mV	50mV	120mV	50mV
12. 最大負荷変動 (注4、6)		100mV	300mV	300mV	100mV	240mV	240mV	100mV	240mV	100mV
13. 過電流保護 (注7、8)		各CH共 105%~、総合出力電力18W以上								
14. 過電圧保護 (注9)		CH1のみ…5.75~6.75V (出力遮断方式手動リセット型)								
15. 出力保持時間 (Typ.)		100VAC 最大出力電力時に於いて20ms 17W出力 (5V2A、2CH・3CH TOTAL 7W時)								
16. 出力電圧可変範囲 (Typ.)		CH1出力のみ…+5% (5~5.25V) : CH2・CH3出力は固定…±5%Max 5V可変時は、2CH・3CHの出力電流をディレーティングして下さい。								
17. 動作周囲温度		0℃~+60℃ 自然空冷0℃~+40℃ : 17W、50℃ : 14W、60℃ : 10W								
18. 動作周囲湿度		30%~90%RH								
19. 保存温度		-30℃~+85℃								
20. 保存湿度		10%~95%RH								
21. 冷却方式		自然空冷								
22. 周囲温度対出力変動 (Typ.)		CH1…1%以下、CH2・3…2%以下 (0~60℃)								
23. 耐電圧		入カ-筐体間 2.0kVAC 1分間 (但し電流は20mAとします) 入カ-出力間 3.0kVAC 1分間 (但し電流は20mAとします)								
24. 絶縁抵抗		出力-筐体間 25℃ 70%RH 500VDCにて100MΩ以上								
25. 耐振動		19.6m/s <sup>2</sup> 以下 (標準取付時、10~55Hz 掃引1分間 19.6m/s <sup>2</sup> 以下 X・Y・Z各方向1時間)								
26. 耐衝撃		196.1m/s <sup>2</sup> 以下								
27. 安全規格・CEマーキング		UL60950-1認定、CSA C22.2 No.60950認定、EN60950-1認定・低電圧指令適合								
28. 雑音端子間電圧		VDE-B、FCC-B準拠								
29. 質量		220g								
30. 標準価格		6,000円								

注1. 100VAC、出力電力17W時…5V2A、CH2・CH3総合7W

注2. 安全規格申請時の定格入力電圧範囲は、「100~240VAC、50/60Hz」です。

注3. 周囲温度25℃に於けるコールドスタート時です。

注4. 弊社指定の測定方法による値です。

注5. 85~265VAC、負荷一定時の値です。

注6. 最小負荷~全負荷、入力一定時の値です。

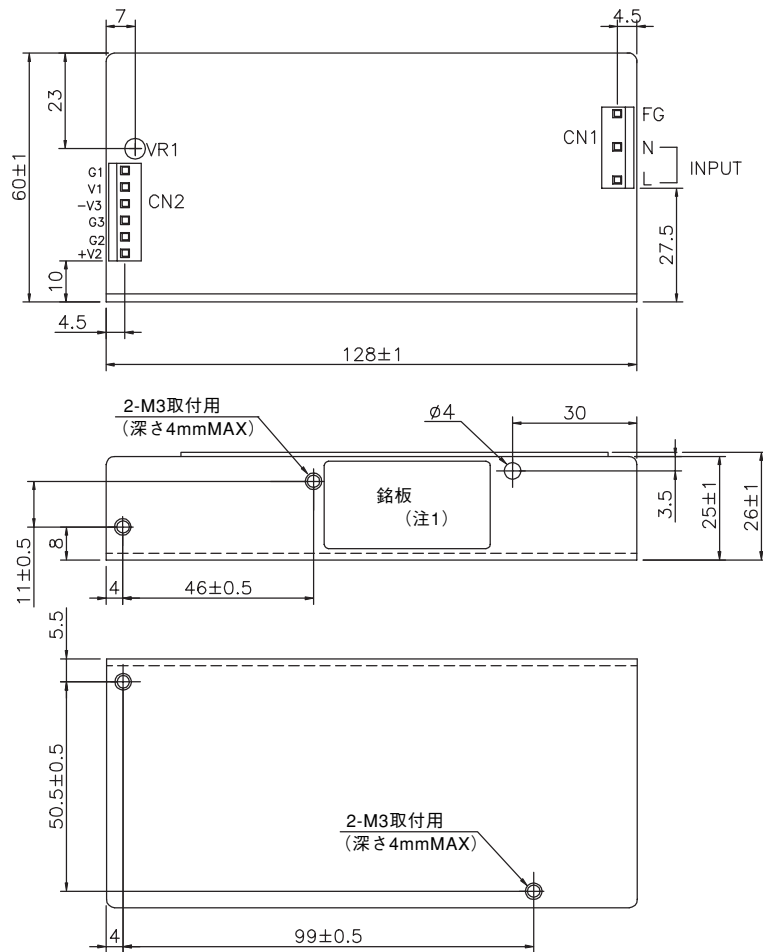
注7. フの字方式自動復帰型です。

注8. 30秒以上の過負荷及び短絡状態は避け下さい。

注9. CH1過電圧保護機能動作時は、全出力が遮断します。

注10. CH1の最小直流出力電流をとることで、全出力が安定します。

**[LWT15H]**



単位:mm

●使用コネクタ

入力側	CN 1	ピンアセンブリ B 3 P-VH (日本圧着端子)
出力側	CN 2	ピンアセンブリ B 6 P-VH (日本圧着端子)

注1. 型名及び仕様規格により定められた入力・出力電圧値と製造国名が表示されます。

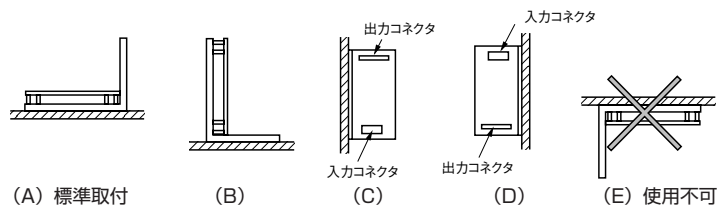
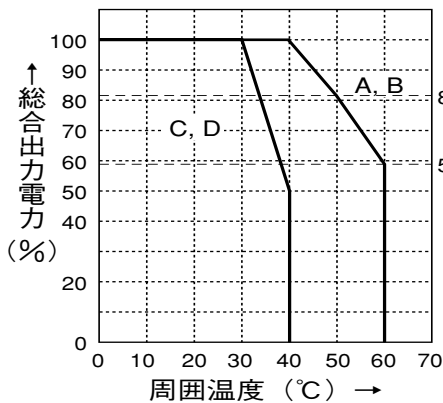
●付属品

入力側	CN 1	ソケットハウジング VHR-5 N (日本圧着端子)
出力側	CN 2	ソケットハウジング VHR-6 N (日本圧着端子)
ターミナルピン		SVH-21 T-P 1.1 (日本圧着端子)

適合圧着器: Y C-160 R (日本圧着端子)

**■取付方法による出力ディレーティング**

出力ディレーティング



電源を装置に実装される場合は、標準取付方法(A)をお奨め致します。  
尚、取付方法(B)、(C)、(D)も可能ですが、左記のディレーティング内でご使用下さい。  
取付方法(E)は、基板が上面となる為、電源内部に熱がこもりますのでお避け下さい。

LWT-H

## ■LWT30H 仕様規格

(ご使用前に取扱説明書をお読み下さい)

仕様項目	型名	LWT30H-5FF			LWT30H-522			LWT30H-525		
	CH	CH1	CH2	CH3	CH1	CH2	CH3	CH1	CH2	CH3
1. 定格直流出力電圧		5V±1%	+15V	-15V	5V±1%	+12V	-12V	5V±1%	+12V	-5V
2. 最小直流出力電流 (注10)		0.7A	0A	0A	0.7A	0A	0A	0.7A	0A	0A
3. 最大直流出力電流		5.0A	1.2A	0.6A	5.0A	1.2A	0.6A	5.0A	1.2A	0.6A
4. 最大出力電力		25.0W	18.0W	9.0W	25.0W	14.4W	7.2W	25.0W	14.4W	3.0W
5. 総合最大出力電力		30.0W			30.0W			30.0W		
6. 効率 (Typ.) (注1)		73%			73%			73%		
7. 入力電圧及び周波数 (注2)		85~265VAC (47~440Hz)、110~330VDC連続入力								
8. 入力電流 (Typ.)		0.70A 100VAC/0.42A 200VAC								
9. 入力サージ電流 (Typ.) (注3)		100VACに於いて16A/200VACに於いて32A								
10. 最大リップル電圧 (含ノイズ) (注4)		100mV	150mV	150mV	100mV	150mV	150mV	100mV	150mV	150mV
11. 最大入力変動 (注4、5)		50mV	150mV	150mV	50mV	120mV	120mV	50mV	120mV	50mV
12. 最大負荷変動 (注4、6)		100mV	300mV	300mV	100mV	240mV	240mV	100mV	240mV	100mV
13. 過電流保護 (注7、8)		各CH共 105%~、総合出力電力32W以上								
14. 過電圧保護 (注9)		CH1のみ…5.75~6.75V (出力遮断方式手動リセット型)								
15. 出力保持時間 (Typ.)		100VAC 最大出力電力時に於いて20ms 30W出力 (5V4A、2CH・3CH TOTAL 10W時)								
16. 出力電圧可変範囲 (Typ.)		CH1出力のみ…+5% (5~5.25V) : CH2・CH3出力は固定…±5%Max 5V可変時は、2CH・3CHの出力電流をディレーティングして下さい。								
17. 動作周囲温度		0℃~+60℃ 自然空冷0℃~+40℃ : 30W、50℃ : 24W、60℃ : 18W								
18. 動作周囲湿度		30%~90%RH								
19. 保存温度		-30℃~+85℃								
20. 保存湿度		10%~95%RH								
21. 冷却方式		自然空冷								
22. 周囲温度対出力変動 (Typ.)		CH1…1%以下、CH2・3…2%以下 (0~60℃)								
23. 耐電圧		入力-筐体間 2.0kVAC 1分間 (但し電流は20mAとします) 入力-出力間 3.0kVAC 1分間 (但し電流は20mAとします)								
24. 絶縁抵抗		出力-筐体間 25℃ 70%RH 500VDCにて100MΩ以上								
25. 耐振動		19.6m/s <sup>2</sup> 以下 (標準取付時、10~55Hz 掃引1分間 19.6m/s <sup>2</sup> 以下 X・Y・Z各方向1時間)								
26. 耐衝撃		196.1m/s <sup>2</sup> 以下								
27. 安全規格・CEマーキング		UL60950-1認定、CSA C22.2 No.60950認定、EN60950-1認定・低電圧指令適合								
28. 雑音端子間電圧		VDE-B、FCC-B準拠								
29. 質量		300g								
30. 標準価格		8,000円								

注1. 100VAC、出力電力30W時…5V4A、CH2・CH3総合10W

注2. 安全規格申請時の定格入力電圧範囲は、「100~240VAC、50/60Hz」です。

注3. 周囲温度25℃に於けるコールドスタート時です。

注4. 弊社指定の測定方法による値です。

注5. 85~265VAC、負荷一定時の値です。

注6. 最小負荷~全負荷、入力一定時の値です。

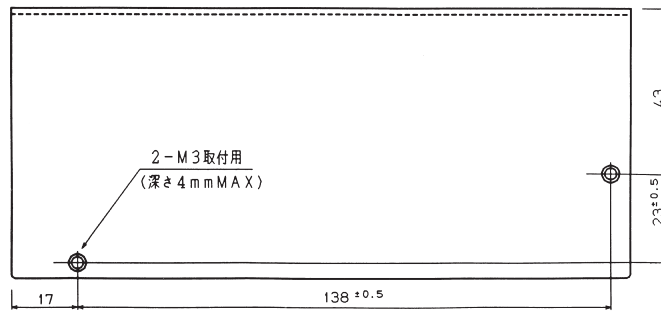
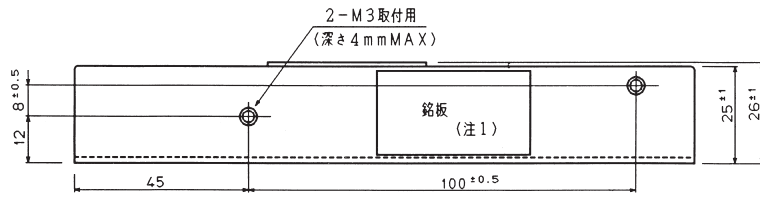
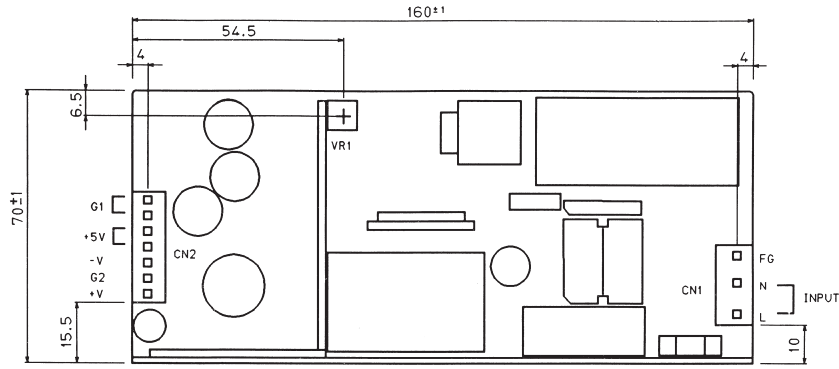
注7. 30秒以上の過負荷及び短絡状態は避け下さい。

注8. フの字方式自動復帰型です。

注9. CH1過電圧保護機能動作時は、全出力が遮断します。

注10. CH1の最小直流出力電流をとることで、全出力が安定します。

[LWT30H]



単位:mm

●使用コネクタ

入力側 CN1	ピンアセンブリ B3P5-VH(日本圧着端子)
出力側 CN2	ピンアセンブリ B7P-VH(日本圧着端子)

注1. 型名及び仕様規格により定められた入力・出力電圧値と製造国名が表示されます。

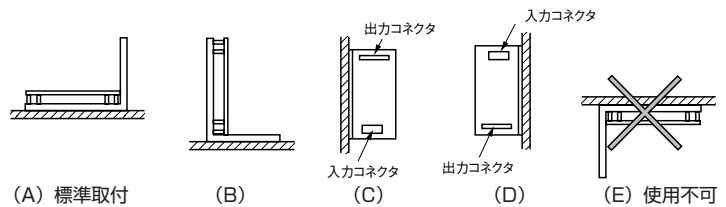
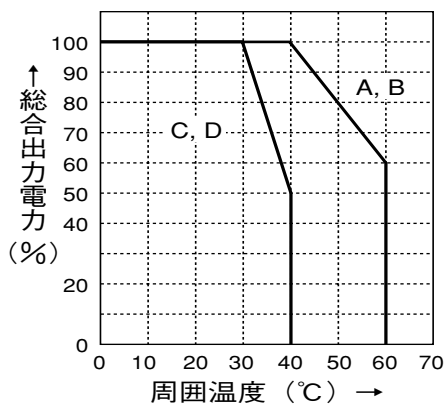
●付属品

入力側 CN1	ソケットハウジング VHR-5N(日本圧着端子)
出力側 CN2	ソケットハウジング VHR-7N(日本圧着端子)
ターミナルピン	SVH-21T-P1.1(日本圧着端子)

適合圧着器: YC-160R(日本圧着端子)

■取付方法による出力ディレーティング

出力ディレーティング



電源を装置に実装される場合は、標準取付方法(A)をお奨め致します。  
尚、取付方法(B)、(C)、(D)も可能ですが、左記のディレーティング内でご使用下さい。  
取付方法(E)は、基板が上面となる為、電源内部に熱がこもりますのでお避け下さい。

## ■LWT50H 仕様規格

(ご使用前に取扱説明書をお読み下さい)

仕様項目	型名	LWT50H-5FF			LWT50H-522			LWT50H-525		
	CH	CH1	CH2	CH3	CH1	CH2	CH3	CH1	CH2	CH3
1. 定格直流出力電圧		5V±1%	+15V	-15V	5V±1%	+12V	-12V	5V±1%	+12V	-5V
2. 最小直流出力電流 (注10)		1.0A	0A	0A	1.0A	0A	0A	1.0A	0A	0A
3. 最大直流出力電流		8.0A	1.5A	1.0A	8.0A	1.5A	1.0A	8.0A	1.5A	1.0A
4. 最大出力電力		40.0W	22.5W	15.0W	40.0W	18.0W	12.0W	40.0W	18.0W	5.0W
5. 総合最大出力電力		50.0W			50.0W			50.0W		
6. 効率 (Typ.) (注1)		73%			72%			70%		
7. 入力電圧及び周波数 (注2)		85~265VAC (47~440Hz)、110~330VDC連続入力								
8. 入力電流 (Typ.)		1.2A 100VAC/0.7A 200VAC								
9. 入力サージ電流 (Typ.) (注3)		100VACに於いて16A/200VACに於いて32A								
10. 最大リップル電圧 (含ノイズ) (注4)		100mV	150mV	150mV	100mV	150mV	150mV	100mV	150mV	150mV
11. 最大入力変動 (注4、5)		50mV	150mV	150mV	50mV	120mV	120mV	50mV	120mV	50mV
12. 最大負荷変動 (注4、6)		100mV	300mV	300mV	100mV	240mV	240mV	100mV	240mV	100mV
13. 過電流保護 (注7、8)		各CH共 105%~、総合出力電力53W以上								
14. 過電圧保護 (注9)		CH1のみ…5.75~6.75V (出力遮断方式手動リセット型)								
15. 出力保持時間 (Typ.)		100VAC 最大出力電力時に於いて20ms 50W出力 (5V6A、2CH・3CH TOTAL 20W時)								
16. 出力電圧可変範囲 (Typ.)		CH1出力のみ…+5% (5~5.25V) : CH2・CH3出力は固定…±5%Max 5V可変時は、2CH・3CHの出力電流をディレーティングして下さい。								
17. 動作周囲温度		0℃~+60℃ 自然空冷0℃~+40℃ : 50W、50℃ : 40W、60℃ : 30W								
18. 動作周囲湿度		30%~90%RH								
19. 保存温度		-30℃~+85℃								
20. 保存湿度		10%~95%RH								
21. 冷却方式		自然空冷								
22. 周囲温度対出力変動 (Typ.)		CH1…1%以下、CH2・3…2%以下 (0~60℃)								
23. 耐電圧		入力-筐体間 2.0kVAC 1分間 (但し電流は20mAとします) 入力-出力間 3.0kVAC 1分間 (但し電流は20mAとします)								
24. 絶縁抵抗		出力-筐体間 25℃ 70%RH 500VDCにて100MΩ以上								
25. 耐振動		19.6m/s <sup>2</sup> 以下 (標準取付時、10~55Hz 掃引1分間 19.6m/s <sup>2</sup> 以下 X・Y・Z各方向1時間)								
26. 耐衝撃		196.1m/s <sup>2</sup> 以下								
27. 安全規格・CEマーキング		UL60950-1認定、CSA C22.2 No.60950認定、EN60950-1認定・低電圧指令適合								
28. 雑音端子間電圧		VDE-B、FCC-B準拠								
29. 質量		400g								
30. 標準価格		10,000円								

注1. 100VAC、出力電力50W時…5V6A、CH2・CH3総合20W

注2. 安全規格申請時の定格入力電圧範囲は、「100~240VAC、50/60Hz」です。

注3. 周囲温度25℃に於けるコールドスタート時です。

注4. 弊社指定の測定方法による値です。

注5. 85~265VAC、負荷一定時の値です。

注6. 最小負荷~全負荷、入力一定時の値です。

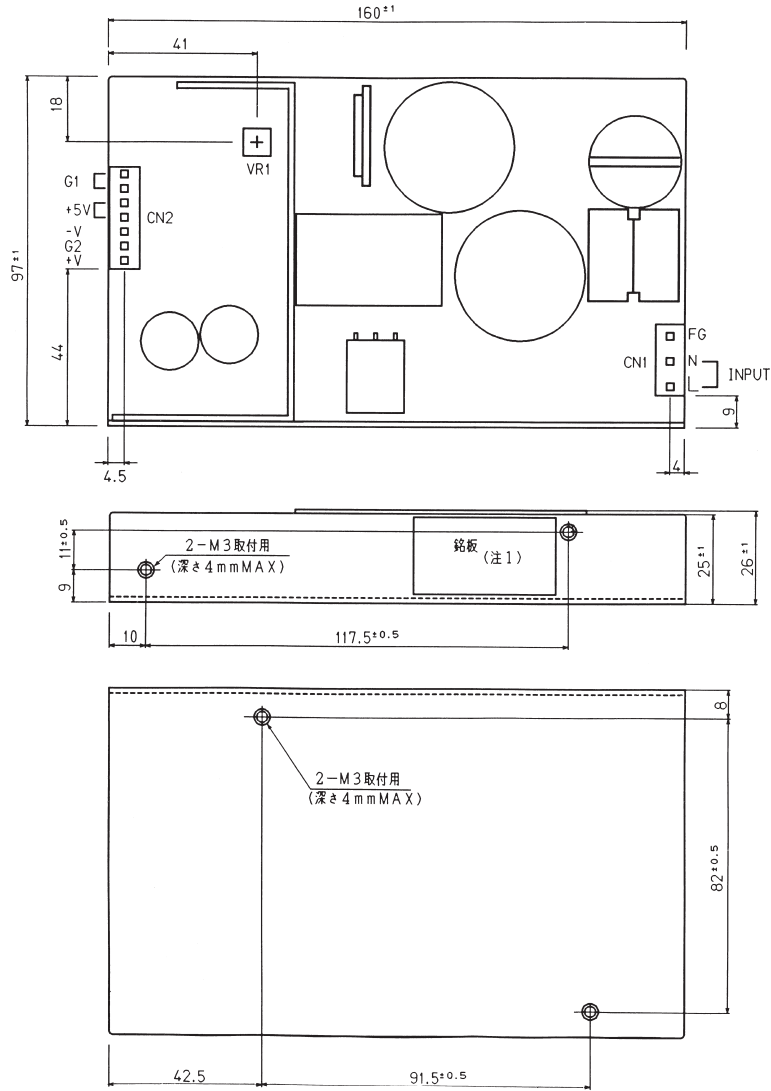
注7. 30秒以上の過負荷及び短絡状態は避け下さい。

注8. フの字方式自動復帰型です。

注9. CH1過電圧保護機能動作時は、全出力が遮断します。

注10. CH1の最小直流出力電流をとることで、全出力が安定します。

[LWT50H]



LWT-H

単位:mm

●使用コネクタ

入力側	CN1	ピンアセンブリ B3P5-VH(日本圧着端子)
出力側	CN2	ピンアセンブリ B7P-VH(日本圧着端子)

注1. 型名及び仕様規格により定められた入力・出力電圧値と製造国名が表示されます。

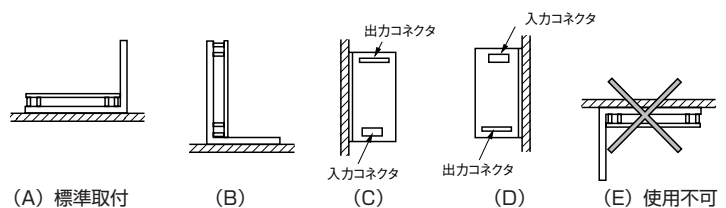
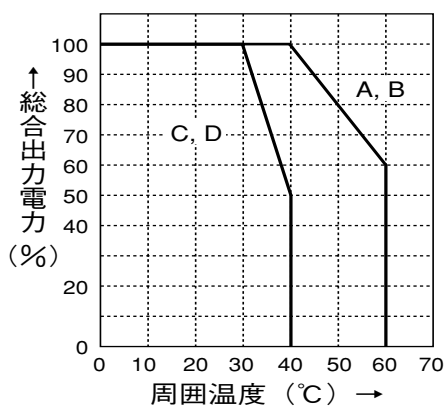
●付属品

入力側	CN1	ソケットハウジング VHR-5N(日本圧着端子)
出力側	CN2	ソケットハウジング VHR-7N(日本圧着端子)
ターミナルピン		SVH-21T-P1.1(日本圧着端子)

適合圧着器: YC-160R(日本圧着端子)

■取付方法による出力ディレーティング

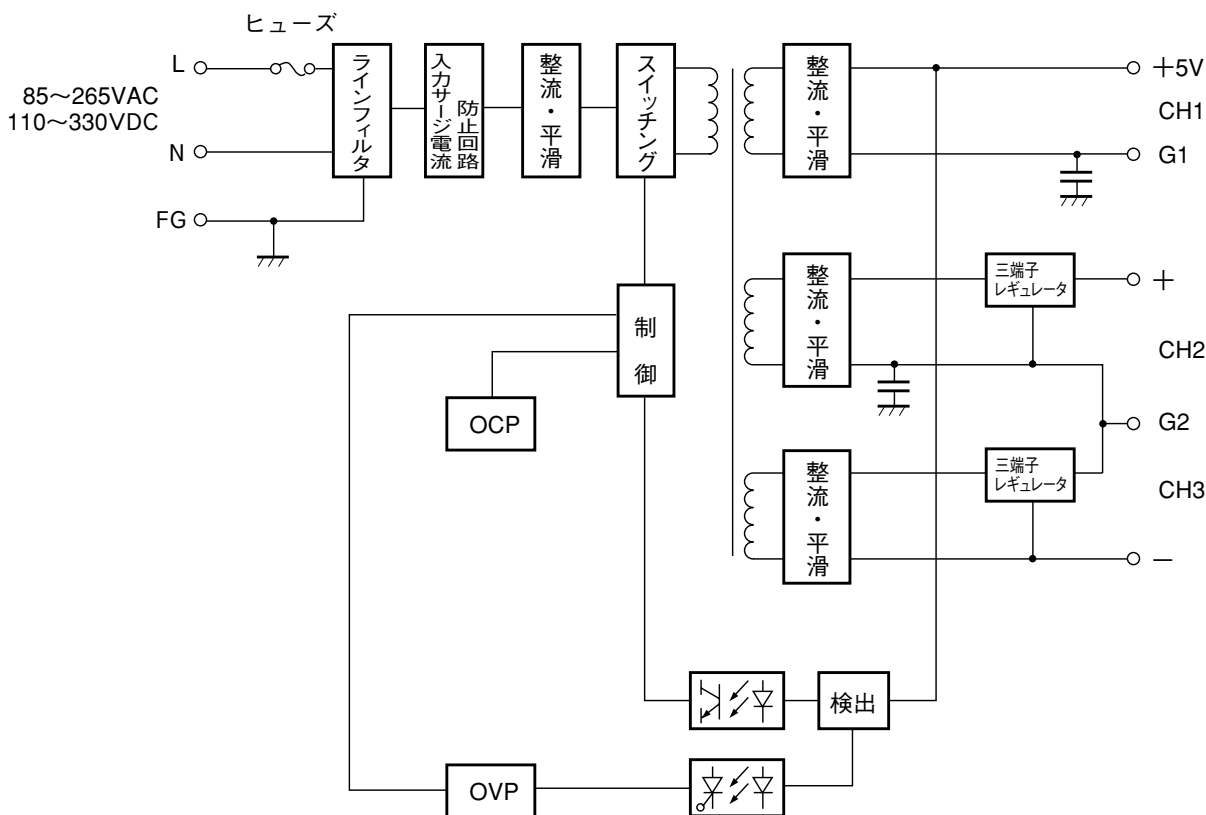
出力ディレーティング



電源を装置に実装される場合は、標準取付方法(A)をお奨め致します。尚、取付方法(B)、(C)、(D)も可能ですが、左記のディレーティング内でご使用下さい。取付方法(E)は、基板が上面となる為、電源内部に熱がこもりますのでお避け下さい。

■ブロックダイアグラム

【LWT15H, LWT30H, LWT50H】

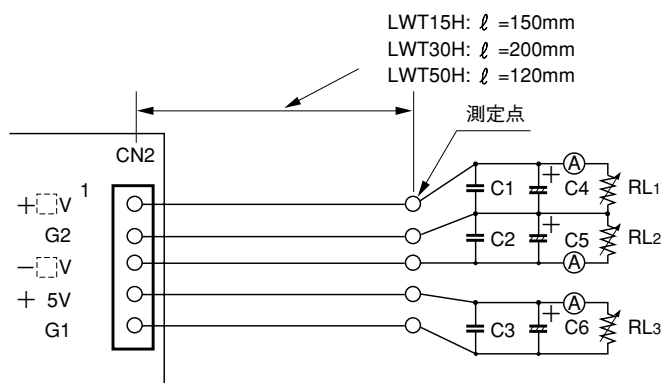


●回路方式・発振周波数  
 スwitching回路：他励フライバック方式・110kHz（固定）

●ヒューズ容量  
 LWT15H：2.5A LWT30H：3 A LWT50H：3 A

■測定方法

【LWT15H, LWT30H, LWT50H】



	LWT15H	LWT30H	LWT50H
C1,C2,C3：フィルムコンデンサ	0.1 $\mu$ F	0.1 $\mu$ F	0.1 $\mu$ F
C4：電解コンデンサ	47 $\mu$ F	100 $\mu$ F	220 $\mu$ F
C5：電解コンデンサ	47 $\mu$ F	47 $\mu$ F	1000 $\mu$ F
C6：電解コンデンサ	470 $\mu$ F	470 $\mu$ F	1000 $\mu$ F

綿材  
 LWT15H：AWG #20（1本）  
 LWT30H：AWG #20（2本）  
 LWT50H：AWG #18（2本）



## LWT-Hシリーズ取扱説明

## ご使用前に

- 入出力端子への結線が、本取扱説明に示されているように、正しく行なわれていることをお確かめ下さい。
- 入力電圧は、85~265VACの連続入力タイプです。入力電圧による切換えは不要です。

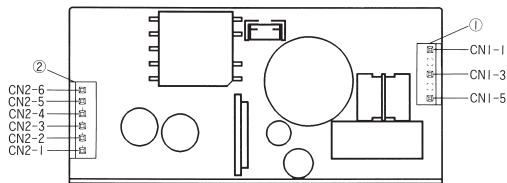
## 1. 端子説明

- 端子の接続は付属のコネクタをご使用下さい。
- 入力電圧端子はCN 1-3、CN 1-5間に接続することにより、切換えなしでAC100V系及び200V系をそのまま使用になれます。  
(尚、ヒューズはCN 1-5ピン側に内蔵されています。)
- LWT30H、LWT50Hの出力端子CN 2-6とCN 2-7、及びCN 2-4、CN 2-5はそれぞれ内部で短絡されています。  
1端子あたりの出力電流は5A未満となっておりますので、それ以上の電流を必要とする場合は、CN 2-6とCN 2-7、及びCN 2-4とCN 2-5を同時にご使用下さい。

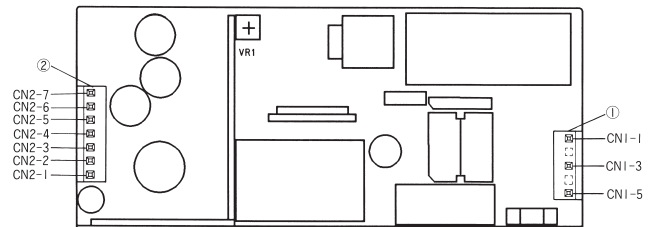
LWT-H

## 1 LWT15H、30H、50H端子説明

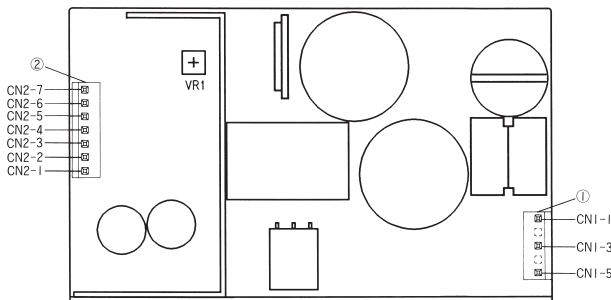
## LWT15H



## LWT30H



## LWT50H



## ①CN 1 (入力側端子)

- CN 1-1 フレームグランド端子(FG)筐体に接続されています。
- CN 1-3 85~265VAC入力端子(N:ニュートラルライン)
- CN 1-5 85~265VAC入力端子(H:-ホットライン)  
ヒューズが内蔵されています。

## ②CN 2 (出力側端子)

## 【LWT15H】

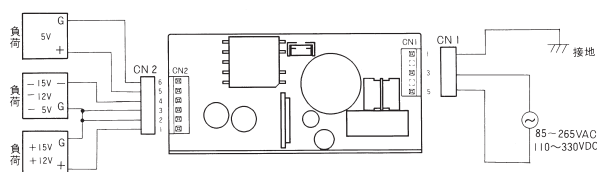
- CN 2-6 CH 1 グランド端子(G 1)  
G 1はG 2と絶縁されています。
- CN 2-5 CH 1 (+5V)出力端子
- CN 2-4 CH 3 (-□V)出力端子
- CN 2-2、3 CH 2、CH 3 グランド端子(G 2)  
G 2はG 1と絶縁されています。
- CN 2-1 CH 2 (+□V)出力端子

## 【LWT30H、LWT50H】

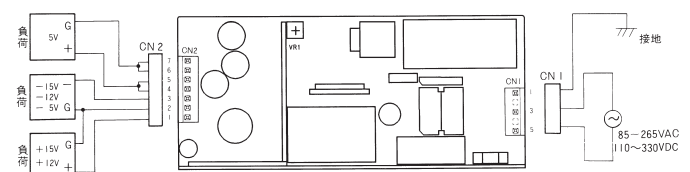
- CN 2-6、7 CH 1 グランド端子(G 1)  
G 1はG 2と絶縁されています。
- CN 2-4、5 CH 1 (+5V)出力端子
- CN 2-3 CH 3 (-□V)出力端子
- CN 2-2 CH 2、CH 3 グランド端子(G 2)  
G 2はG 1と絶縁されています。
- CN 2-1 CH 2 (+□V)出力端子

## 基本接続

## 【LWT15H】



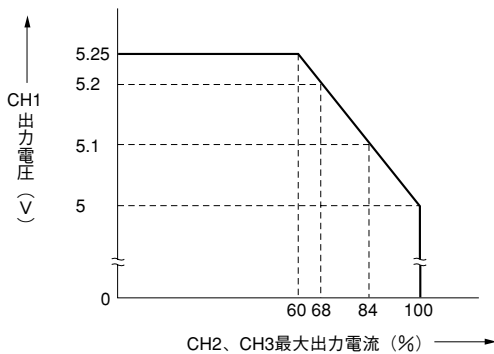
## 【LWT30H、50H】



## 2. 機能説明及び注意点

### 1 出力電圧可変設定

CH1 (5 V)のみ、基板上のボリュームVRIにより、出力電圧の設定を5~5.25Vの範囲で変えられます。ボリュームを時計方向に回転することにより、CH1の出力電圧を上昇させることができます。但し、CH1を5Vを超えて使用する場合、CH2、CH3の各最大出力電流は仕様規格に示される値よりも制限されます。CH1の最大出力電流及び全CHの最大出力電力は変わりません。尚、CH2、CH3の出力電圧は固定されており、外部より出力電圧を可変することはできません。尚、出力電圧を上昇させた場合、出力電流は最大出力電力により規定される値まで低減させて下さい。



例：LWT15H-522

CH1 出力		CH2 出力		CH3 出力		総合最大出力電力
電圧 (可変)	最大直流電力電流	電圧 (固定)	最大直流出力電流	電圧 (固定)	最大直流出力電流	
5V	3A	+12V	0.6A	-12V	0.3A	17W
5.1V			0.5A		0.25A	
5.2V			0.4A		0.2A	
5.25V			0.36A		0.18A	

### 2 過電流保護 (OCP)

LWT-Hシリーズは各チャンネル毎に過電流保護機能があり、過電流状態や短絡状態を解除すれば自動的に電源出力は復帰します。この設定値は固定ですので、外部よりの可変はできません。尚、30秒以上の出力短絡及び過電流状態が続きますと、電源の破壊をまねく恐れがありますのでご注意ください。

### 3 過電圧保護 (OVP)

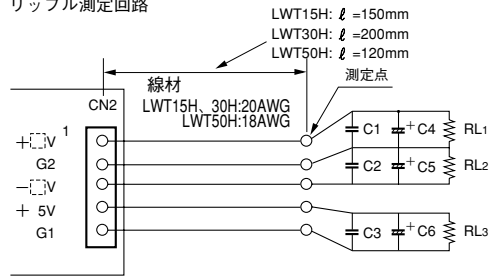
LWT-HシリーズにはOVP機能が内蔵されています。CH1 (5 V)の出力電圧を検出し、OVP機能動作点に達すると全チャンネルの出力が遮断されます。OVP機能が動作した場合は、過電圧状態を解除後入力を一度遮断し、しばらく間隔をおいて入力を投入しませんが、電源出力は復帰しませんのでご注意ください。OVP設定値は固定されており、可変することは出来ません。

### 4 リップル

仕様規格の最大リップル電圧値は、規定の“リップル測定回路”における値です。負荷線が長くなる場合は負荷端に電解コンデンサ、フィルムコンデンサ等を接続しませんでしたとリップルが大きくなる場合があります。尚、測定時オシロスコープのプロープのグランドリードが長いと正確な測定はできませんのでご注意ください。

又、CH1の5V出力には最小電流値が規定されておりますので必ず規定以上の負荷を接続して下さい。

リップル測定回路



	LWT15H	LWT30H	LWT50H
C1,C2,C3：フィルムコンデンサ	0.1 $\mu$ F	0.1 $\mu$ F	0.1 $\mu$ F
C4：電解コンデンサ	47 $\mu$ F	100 $\mu$ F	220 $\mu$ F
C5：電解コンデンサ	47 $\mu$ F	47 $\mu$ F	100 $\mu$ F
C6：電解コンデンサ	470 $\mu$ F	470 $\mu$ F	1000 $\mu$ F

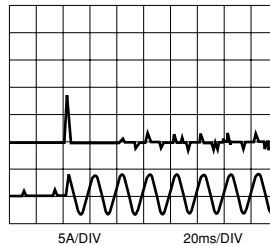
### 5 入力サージ電流

本電源は入力サージ電流防止回路を内蔵していますが、電源を複数台ご使用になる場合は、入力スイッチ・外付ヒューズ等の選択にご注意願います。

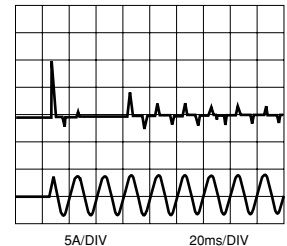
LWT15H, 30H, 50H入力サージ電流波形

(入力：100VAC, 投入位相角：90°, 負荷：100%, 周囲温度25°C)

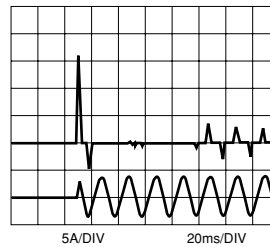
LWT15H



LWT30H



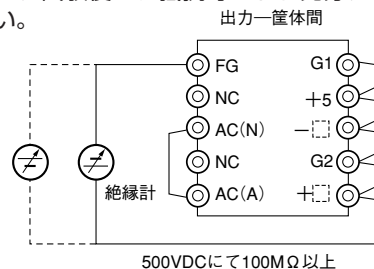
LWT50H



注) 入力サージ電流防止回路には、パワーサーミスタを使用しております。周囲温度が高い場合と入力再投入時には、入力サージ電流が増加しますので入力側スイッチとヒューズの選択にはご注意ください。

### 6 絶縁試験

出力 - 筐体間は、DC絶縁計 (MAX500V) をご使用下さい。絶縁抵抗値は500VDCにて100M $\Omega$ 以上です。尚、絶縁計の種類によっては、電圧を切り換える時高圧パルスを生ずるものがありますので、試験においてはご注意ください。試験後は、抵抗等により充分ディスチャージして下さい。

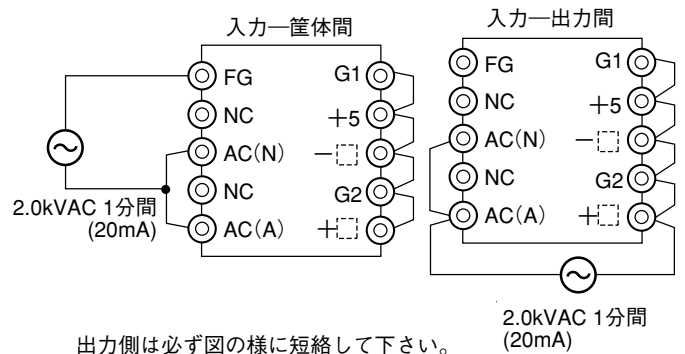


出力側は必ず図の様に短絡して下さい。

## 7 耐圧試験

入力-出力間は3.0kV AC、入力-筐体間は、2.0kV AC 1分間に耐える様設計されています。受入検査等で耐圧試験を行う場合は、使用される耐圧試験器のリミット (LIMIT) 値を20mAに設定して下さい。

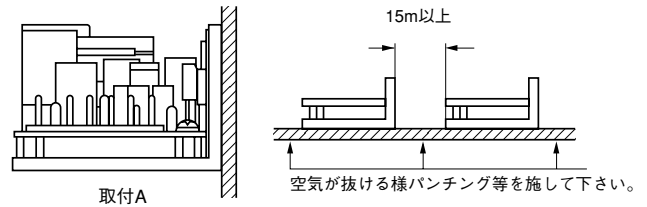
尚、印加電圧は、最初から3.0kV ACを投入することなく、耐圧試験器を0から徐々に電圧を上げ、遮断する時も徐々に下げて下さい。特にタイマー付きの耐圧試験器の場合は、タイマーによりスイッチが切れる瞬間に印加電圧の数倍のインパルスが発生し、電源を破損することがありますのでタイマーの使用はご遠慮下さい。



## 3. 取付方法の注意点

注：LWT50Hを右図Aの方向から取付けた場合、仕様規格上の耐振動値を満足致しませんので、この実装方法はお避け下さい。

- 1) 取付ビスの電源内部への挿入長は4mm以下にして下さい。  
推奨締め付けトルクは0.49N・mです。
- 2) 複数台並べて使用する場合には、各電源の間隔を15mm以上として下さい。



## 4. 配線方法

- (1) 入力ラインと出力負荷線は、必ず分離し、さらにツイストすることによって耐ノイズ性がより一層向上します。
- (2) 綿材は、コネクタのソケット接触部に適用電線 (AWG.22~18) をご使用下さい。
- (3) ノイズ除去の為、負荷端に小容量のコンデンサを入れますと、より効果的です。
- (4) FG端子は、安全及び雑音防止上、実装セットの接地端子に確実に接続して下さい。

## 5. 外付けヒューズ容量

電源外部にヒューズを取付ける場合、下記の表によりヒューズ容量を選択して下さい。  
尚、速断ヒューズは避けて下さい。

ヒューズの定格電流

モデル名	ヒューズ定格電流
LWT15H	2.5A
LWT30H	3A
LWT50H	3A

## 6. 故障と思われる前に

- (1) 規定の入力電圧が接続されていますか。
- (2) 入出力のコネクタはしっかりと取り付けられていますか。
- (3) コネクタピンと綿材の圧着はしっかりと行なわれていますか。
- (4) 入出力の綿材は、細すぎるものを使用していませんか。
- (5) 入出力コネクタへの配線位置は、正しく行なわれていますか。
- (6) 負荷側に大容量コンデンサを取付けて御使用の際は弊社に御相談下さい。  

LWT15H	3500 $\mu$ F以上
30H	6800 $\mu$ F以上
50H	10000 $\mu$ F以上
- (7) CH1の最小直流出力電流をとっていますか。最小直流出力電流とすることで、全出力が安定します。